

# JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

担当支部	北海道支部	(2)記載者氏名: 海川 敏雄	会員番号	10981	事務局整理記入欄	北海道 - 193
分水嶺区分	H231七ツ岳～690m地点:H232方向		(3)山行日:	2005年 5月 14日	(4)天候	晴れ時々曇り

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

海川敏雄	10981					
片岡次雄	12093					
計		2名		計		名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	幕営地～H231七ツ岳～870～750～680～650～690～690(H232 799.1の北1km手前)												
アプローチ:	函館～R228～知内町～ツラツラ川林道・林道と町界線との交点付近(幕営)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	幕営地	七ツ岳	140	12	40.0	41	36	36.0	501		6:00		
分水嶺到達点H231	七ツ岳	七ツ岳	140	12	50.7	41	37	27.1	955	7:00	7:10	B-4	(9)
	P870m地点	七ツ岳	140	12	16.7	41	37	34.1	870	7:35	7:40	B-4	(9)
	P750m地点	七ツ岳	140	11	54.9	41	37	21.7	754	8:10	8:15	B-4	(9)
	P680m地点	七ツ岳	140	11	41.1	41	36	59.1	678	8:50	8:55	B-4	(9)
	P650m地点	七ツ岳	140	11	36.4	41	36	47.1	647	9:15	9:20	B-4	(8)・(9)
	P690m地点	七ツ岳	140	11	44.1	41	36	30.1	697	10:50	10:55	B-4	(9)
	P690m地点	七ツ岳	140	11	42.7	41	36	21.5	693	11:15	11:20	B-4	(9)
	(引き返す)												
分水嶺離別点	P680m地点	七ツ岳	140	11	41.1	41	36	59.1	678	13:35	13:40	B-4	(9)
歩行終了点	ツラツラ林道脇	湯ノ里	140	16	45.0	41	36	15.6	91	16:25		B-4	(9)
総歩行時間(休憩時間を除く):												9時間20分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項
H231	七ツ岳	3	南	良好	

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺上の西側に、上ノ国町からと思われる林道がこの山の直下まで延びている。この道は地図上には見当たらない。

(9)水および植生に関連した特記事項

ほとんどがフナとタケカンバで、稜線上には笹やネガマリタケが密生している。

(10)その他の特記事項

昨日のトレースをたどり七ツ岳へ。七ツ岳 870m地点 750m地点 680m地点 650m地点 656m地点 690m地点 690m地点へと進み、最終到達地点から680m地点まで引き返し、東側の斜面から林道に下りて幕営地へ。テント撤収後駐車地点へ。当初は、七ツ岳から 799.1mを越えて819m地点まで進め、この山域の踏査を一気に終わらせるつもりであったが、融雪が進み、遅々として進まぬ数漕ぎの厳しさを思い知らされるに及んで、それも断念せざるを得なくなった。最終到達地点(799.1の1km前の690m地点)から眺めると、780mから 799.1に続く尾根や山頂直下の斜面には頼みの雪が見当たらない。後2.2kmを踏査できれば、白神岬から焼山までが線で繋がるのに…と、無念遣る方無い思いで帰途についた。
--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: